nichicon

取扱説明書

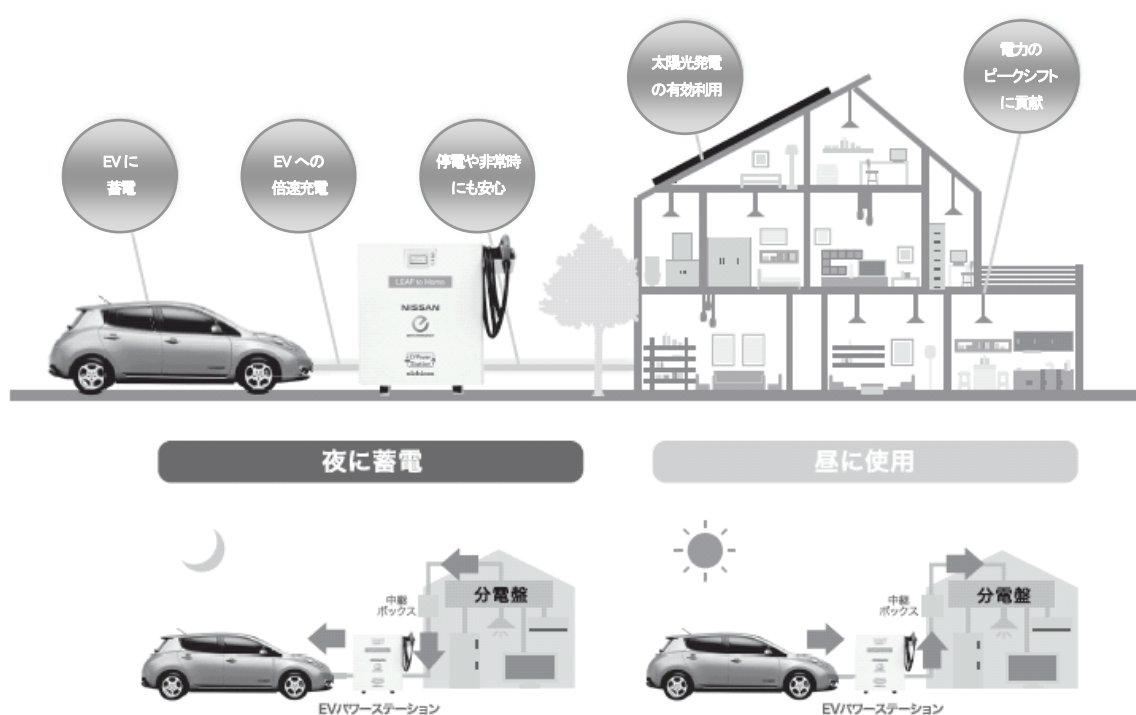
ＥＶパワー・ステーション

ZHTP1580R

このたびは、EVパワー・ステーションをお買い上げいただきまして
誠にありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みいただいたうえで、正しくお使いください。
また、保証書とともに大切に保管してください。

2013-10
TP1565RMAN01004

「街中を走る」から「家庭で使う」へ

この製品は、電気自動車(EV)と家庭をつなぐ Vehicle to Home システムにより、
EV の大容量バッテリーから電力を取り出し、暮らしに必要な電力を供給する給電機能、および、
EV への充電機能を備えた「EVパワー・ステーション」です。

本体

充電ユニット、インバーターユニットで構成され、EV への充電、家庭への給電の切り換えを制御します。

中継ボックス

家庭内分電盤と本体の間に設置され、電力系統と家庭内配電網を切り離し、EV から家庭への給電を切り換える機能を備えています。
また、使用電力を計測するための電流センサーを配置しています。

目次

安全のために必ずお守りください

■ ご使用の前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みの上、正しくお使いください。
■ 個々に示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、お守りください。
■ お読みになられた後も、ご利用される方がいつでも参照できるところに保管ください。

ここに示した事項は、⚠警告、⚠注意に区分しています。

⚠	**警告**	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	取り扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険が想定される内容、及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示については、次のような意味があります

	＊アース線を接続する 安全アース端子付きの機器の場合、使用者にアース線を接続するように指示する表示		**＊感電注意** 特定の条件に於いて、感電の可能性を注意する通告
	＊一般的な禁止 特定しない一般的な禁止の場合		**＊分解禁止** 機器を分解することで感電などの障害が起こる可能性がある場合の禁止の通告
	＊一般的な指示 特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示		

⚠ 警告

本体（コネクタ付きケーブルを含む）・中継ボックス	
	カバーを開けない 内部に電圧の高い部分があります。感電の原因となります。
	分解、改造をしない 感電や傷害を負う恐れがあります。
	コネクタの金属接点に触れない 高い電圧が加わり、感電の恐れがあります。
	濡れた手でコネクタを扱わない 感電の原因となることがあります。
	植込み型心臓ペースメーカ及び植込み型除細動器（ICD）を使用している方は機器本体部からの電磁波がペースメーカICDの作動に一時的な影響を与える場合がありますので次のことをお守りください。 ・充電中、給電中の本製品に近づかないでください。 ・本製品を操作する必要がある場合は、他の方にお願いしてください。
	取付工事・修理・移動・再設置・破棄はお買い上げの販売店に依頼する 不備があった場合、感電や火災の恐れがあります。
	子供だけで使わせない 感電、やけど、火災の恐れがあります。
	降雪時は本体への積雪（1m以内）を避け、吸排気口などを塞がないようにする 機器が変形したり、内部が加熱し、故障の原因となります。
	ケーブルを踏んだり、上に物を置いたり、引きずったりしない ケーブルが損傷し、火災や感電の原因となります。
	人命に直接かかわる医療機器などは接続しない 身体の安全を損ねる場合があります。
	給電の切り換え時（EV⇔系統）や、充電開始時に中継ボックスより作動音がするので注意する 比較的大きな音がするので心臓の弱い方は注意してください。

⚠ 警告

本体（コネクタ付きケーブルを含む）・中継ボックス

	蹴ったりして強い衝撃を与えない 変形して短絡し、発熱、発火、破壊、火災の恐れがあります。
	本体･中継ボックスの上に乗ったり、座ったり、ぶら下がったり、物を載せない 装置が変形し、脱落し、けが･感電･故障の原因となります。
	可燃性ガスや引火物を近くに置かない（60cm以内） 電機部品のスパークで漏れたガスや引火物などに引火する恐れがあります。
	コネクタに無理な力を加えない コネクタが損傷し、故障や感電の原因となります。
	吸排気口などに物（金属、紙、水など）を差し込んだり中に入れたりしない 火災･感電･故障の原因となります。
	中継ボックス内はブレーカ以外には触れない けが、感電の原因となります。
	もし、煙が出たり、異臭がする場合は、すぐに中継ボックスのブレーカを「OFF」にする そのまま使用すると、火災の原因となります。販売店にご連絡ください。
	充電、給電以外の用途に使用しない 火災･感電･故障の原因となります。
	シンナー、ベンジン、アルコールなどの薬品を本体に吹き付けない 機器内部に侵入すると故障、発煙発火の原因になることがあります。
	殺虫剤などを吹きかけない 機器内部に侵入すると故障、発煙発火の原因になることがあります。

⚠ 注意

本体（コネクタ付きケーブルを含む）・中継ボックス

	濡れた手で触れたり、濡れた布でふかない 感電の原因となることがあります。
	雷が鳴り出したときは、EVや本体に触れない 落雷による感電などの恐れがあります。
	アース工事を行う（D種接地工事） アース工事が不完全な場合、感電の恐れがあります。アース線は、ガス管･水道管･避雷針･電話のアース線に接続しないでください。
	洗車時の洗剤や高圧水が本製品にかからないようにする 内部に侵入し、故障や感電の原因となることがあります。
	ホームセキュリティをお使いの方で、外出される場合は、EVからコネクタを外す 何らかの原因でご家庭のブレーカが落ちると、セキュリティ会社に連絡が入ります。
	ホームセキュリティをお使いの方で、長期外出される場合は、EV からコネクタを引き抜くとともに、中継ボックスのブレーカを切る 何らかの原因でご家庭のブレーカが落ちると、セキュリティ会社に連絡が入ります。
	近くで殺虫剤などの可燃性ガスを使用しない 引火し、やけど･火災の原因となることがあります。
	お子様の手の届くところで使わない 思わぬ事故の原因となります。

取扱上のお願い

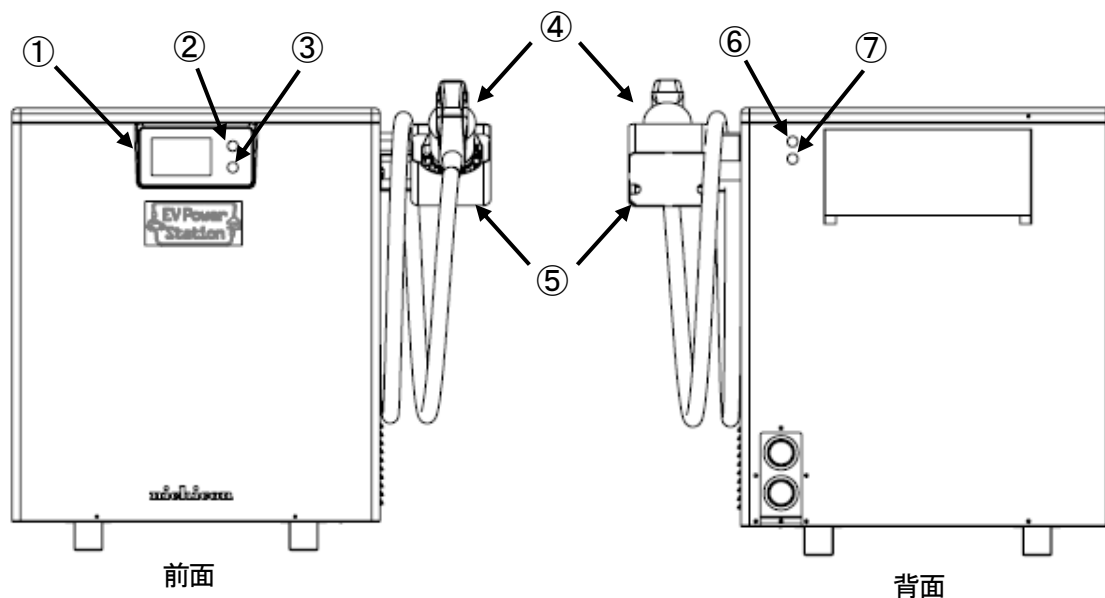
<table>
<tr><th colspan="2">本体（コネクタ付きケーブルを含む）・中継ボックス</th></tr>
<tr><td rowspan="4">(!)</td><td>次のような場所には取り付けない
□ 住宅の居間・寝室・書斎のような騒音について厳しい制約をうける場所の近く
□ 標高2000mより高いところ
□ 揮発性、可燃性、腐食性及びその他の有害ガスのあるところ
□ 振動、衝撃の影響が大きいところ
□ 油蒸気のあるところ
□ 浸水の恐れのあるところ、水はけの悪いところ。
□ 電界の影響が大きいところ
□ 風通しが悪いところ
□ 重塩害地域(海岸からの距離が500m以内の地域)、岩礁隣接地域
□ 本体は潮風や融雪剤飛沫に直接さらされるところ
・本体は極力建物の風下に設置してください。やむを得ず海岸面や融雪剤散布側に本体を据付ける場合でも、防風板等を設置し、直接潮風や融雪剤飛沫が当らないよう設置する。
□ 雪の吹きさらしとなるところ
□ 落雪の影響を受けるところ
□ 降雪により吸気口・排気口がふさがるところ
□ 結露および氷結のあるところ
※次の温度範囲外のところでは動作が保証されません
温度:－10℃～＋40℃ （寒冷地仕様は －30℃～＋40℃）</td></tr>
<tr><td>取扱説明書を熟読する
ご使用される前には、取扱説明書や製品の注意書きをよくお読みになり、正しくご使用ください。</td></tr>
<tr><td>給電開始後または給電中に負荷側のブレーカをONしない。一旦給電を止めてからブレーカをONし、その後に給電を開始する。
ブレーカON時に全家電に一斉に突入電流が流れ、機器に影響がでる場合があります。</td></tr>
<tr><td>移設等で機器を一時保管される場合は屋内(湿気の少ないところ)に保管する</td></tr>
<tr><td rowspan="2">(禁止)</td><td>シンナー、ベンジン、アルコールなどの薬品を含んだ布でふかない
装置の変色の原因となります。</td></tr>
<tr><td>太陽光・エネファーム等のコジェネシステム・蓄電システム・HEMSシステム、ECOマネシステムを後付けする場合には販売店に相談する</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="2">本体（コネクタ付きケーブルを含む）</th></tr>
<tr><td rowspan="4">(!)</td><td>1年に一度、フィルターの交換を行う
性能維持のため1年に一度、フィルターの交換を行ってください。</td></tr>
<tr><td>塩分や融雪剤などの除去を行う
性能維持のため、付着した塩分や融雪剤などを除去するために定期的に水洗いを行ってください。</td></tr>
<tr><td>除雪を行う
降雪により吸気口・排気口を塞がないよう除雪を行ってください。</td></tr>
<tr><td>不使用時は、コネクタをコネクタホルダに収納して保管する
潮風や融雪剤などを避けることで、サビの発生時期や進行を遅らせることができます。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">(禁止)</td><td>装置の近くでテレビやラジオなどを使用しない
テレビの画面が乱れたり、ラジオに雑音が入ることがあります。2m以上離してご使用ください。
受信している電波の弱い場所では電波障害を受ける恐れがあります。</td></tr>
<tr><td>PLC（電力線通信）を使用しない
通信に障害を与えたり、本機が正常に動作しない恐れがあります。</td></tr>
<tr><td>高圧水での洗浄はしない。また、吸気口や排気口から水を入れない
故障や事故が発生する恐れがあります。</td></tr>
<tr><td>タッチパネルにお湯をかけるなどの急激な温度変化を与えない
タッチパネルが故障する場合があります。</td></tr>
<tr><td>雪吹込み防止フードを取り外さない（寒冷地仕様品）
本体内部に雪が入りやすくなり故障する場合があります。</td></tr>
<tr><td>廃棄処理・リサイクルについて
本機には密閉型鉛蓄電池を使用しています。廃棄する場合は、販売店にお問い合わせください。</td></tr>
</table>

設置上のお願い

<table>
<tr><th colspan="2">本体（コネクタ付きケーブルを含む）・中継ボックス</th></tr>
<tr><td rowspan="6">❗</td><td>本体はコンクリートで養生したところに設置する
雑草などが本体内に入り込むと、動作不良、故障、発煙発火の原因になることがあります。</td></tr>
<tr><td>本体は風通しの良い日陰に設置する
本体の温度が上昇し、本来の性能を発揮できない恐れがあります。</td></tr>
<tr><td>設置の際は本体を水平に設置し、アンカーで固定する
本体の転倒により、故障や思わぬ怪我の原因になることがあります。</td></tr>
<tr><td>道路からできるだけ離して設置する
道路から巻き上げられたしぶきや融雪剤が内部に侵入し、本体の寿命を縮める可能性があります。</td></tr>
<tr><td>指定の工事業者に設置を依頼する
指定工事業者以外で設置したり、個人で設置した場合は、保証の対象外となります。</td></tr>
<tr><td>塩害地域や温泉地などに設置する場合は、あらかじめ設置業者などに相談する
塩霧や腐食性ガスの影響で本体が腐食し、寿命を縮める可能性があります。</td></tr>
</table>

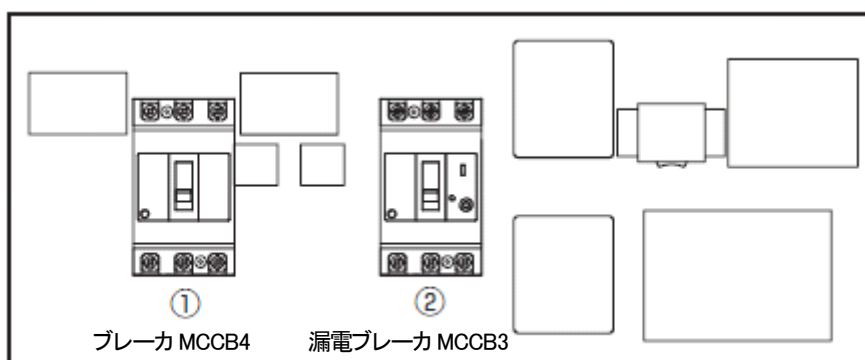
各部の名前と働き

本体

※ご購入された販売店により本体表面のデザインが異なる場合があります。

①	タッチパネル	表示画面を兼ねた操作パネルです。 充電・給電状態の表示や各動作モードの設定を行います。
②	[充電開始] ボタン (青色ボタン)	充電動作の指示を行います。
③	[充電停止] ボタン (緑色ボタン)	充電停止の指示を行います。
④	コネクタ付きケーブル	EV に接続して、EV への充電、家庭への給電を行います。
⑤	コネクタホルダ	コネクタを収納します。
⑥	[非常停止] ボタン (赤色ボタン)	非常時に充電・給電動作を緊急停止させます。
⑦	[停電復旧] ボタン (黄色ボタン)	停電時に動作が停止した場合に、再起動させます。

※前面ボタンのランプ点灯状態により、本体の状態を知ることができます。

	充電開始ボタン（青）	充電停止ボタン（緑）
待機中	点灯	消灯
充電中	点滅	点灯
給電中	消灯	消灯
異常時	消灯	点灯

中継ボックス

①	ブレーカ MCCB4	EVパワー・ステーションからの電力供給（単相 3 線 100V/200V）を行います。
②	漏電ブレーカ MCCB3	EVパワー・ステーションへの電力供給（単相 200V）を行います。

ブレーカの投入、切断の際は以下の順序で操作してください。

ブレーカ投入順 ： ①（MCCB4） → ②（MCCB3）
ブレーカ切断順 ： ②（MCCB3） → ①（MCCB4）

※ 通常運転時は全てのブレーカが「入」の状態です。
※ 中継ボックス内は上記ブレーカ以外には触らないでください。

タッチパネルの画面表示について

基本的な画面表示の構成

この製品は、本体のタッチパネルの画面をタッチしてさまざまな操作を行います。
画面は次のような構成を基本としています。

①	現在のモード表示	動作モード（充電、給電、停電）を表示します。 ※動作モードが表示されていない場合は、待機状態を表します。
②	現在時刻表示	現在時刻（年／月／日　時刻）を表示します。
③	[ホーム]	ホーム画面に戻ります。
④	設定・表示領域	設定ボタン、データ、ガイダンスを表示します。
⑤	メッセージ表示	お知らせするメッセージを表示します。
⑥	切り換えボタン	項目が 2 画面以上ある場合に、表示画面を切り換えます。

ホーム画面表示

待機時は次の画面が表示されます。ここから順に目的の操作を行います。

ホーム画面　1

ホーム画面　2

ホーム画面　3

①	[手動操作]	手動での充電、給電操作を行います。
②	[コネクタロック]	コネクタを EV に接続したときに、コネクタを EV へロックします。 また、ロック状態のコネクタのロック解除を行います。
③	[タイマー運転]	タイマー運転や条件設定を行います。
④	[データ表示]	充電電力量や給電電力量の統計データを表示します。
⑤	[システム設定]	セキュリティ設定や電力設定などシステムに関する設定を行います。
⑥	[状態表示]	充電中や給電中の状態を表示します。
⑦	切り換えボタン	項目が 2 画面以上ある場合に、表示画面を切り換えます。

システム設定を行う

セキュリティ設定、時刻設定などシステムに関わる設定を行えます。

システム設定画面に切り換える

ホーム画面 2 で［ システム設定 ］ボタンをタッチします。

ホーム画面 2

システム設定画面が表示されます。ここから順に目的の操作を行います。

システム設定

①	[セキュリティ設定]	パスワードの設定を行います。
②	[音関連設定]	お知らせ音の有効／無効を切り換えます。
③	[時刻設定]	現在時刻の設定を行います。

セキュリティ設定

パスワードによるセキュリティ設定をすることにより、いたずらなどによる誤動作、第三者による操作を防ぐことができます。

● 工場出荷時は[無効]になっています。

① **セキュリティ設定画面に切り換える**
システム設定画面で、[セキュリティ設定] をタッチします。

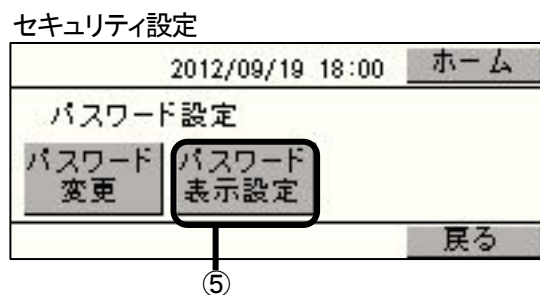
② **パスワードを変更する**
[パスワード変更] をタッチします。

③ **パスワードを設定する**
4 桁の数字を入力してください。
数字キーを押すと、新しいパスワードが入力されます。

④ **変更したパスワードを保存する**
[決定] をタッチします。

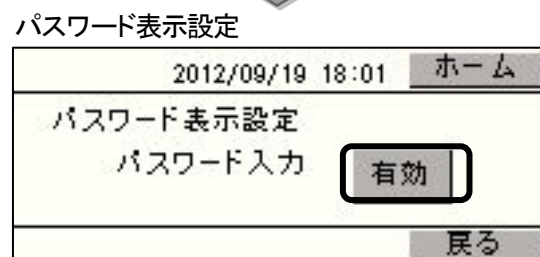
Memo
設定したパスワードの記載欄としてお使いください。

⑤ **パスワード表示設定画面にする**

パスワード設定画面に戻り、[パスワード表示設定]をタッチすると、⑥の画面が表示されます。

⑥ **パスワードを有効にする**

[有効] をタッチする。

※パスワードは 4 桁で設定してください。

4 桁のパスワードを設定していない場合、[有効] にすることはできません。

セキュリティ設定時の操作

セキュリティ設定をすると、設定開始時、またはタッチパネルのバックライト消灯からの復帰時に、パスワードの入力が必要になります。

パスワード入力画面が表示されたら、設定した4桁のパスワードを入力し、[決定] をタッチしてください。

音関連設定

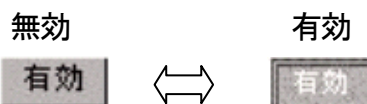
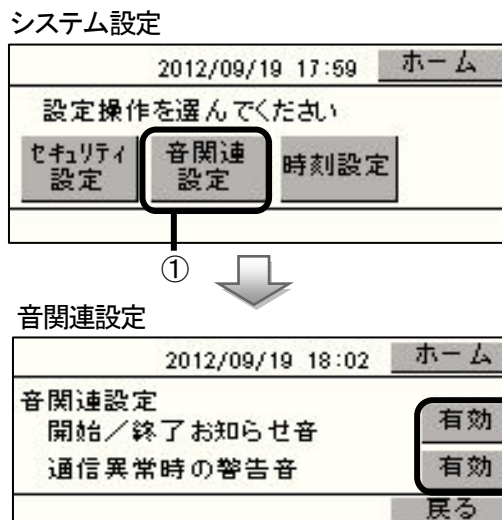
充電および給電の開始／終了時または通信異常発生時に音でお知らせします。

- 工場出荷時は[有効]になっています。

① 音関連設定　画面に切り換える

[音関連設定] をタッチする。

② お知らせ音の有効／無効を設定する

[有効] をタッチする。
再度タッチすると無効になります。

- 音の大きさは変更できません。
- 「通信異常時の警告音」を無効にすると、タッチパネルと本体間の通信異常や EV と本体間の車両通信異常の際に、警告音を鳴らさなくすることができます。

時刻設定

現在の日時を設定できます。
現在時刻は、長く使用されるとずれることがあります。定期的に修正することをお勧めします。
タイマー運転中に時刻を変更すると正しく動作しないため、タイマー運転中は時刻変更をしないでください。

① 時刻設定画面に切り換える

[時刻設定] をタッチします。

② 現在日時を変更する

変更したい　年、月、日、時、分　をタッチし、
[▲／▼]で変更します。

③ 変更を確定する

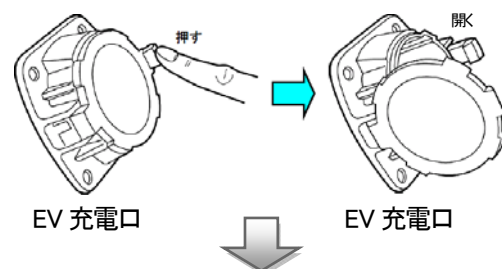
変更終了後、[決定] をタッチします。

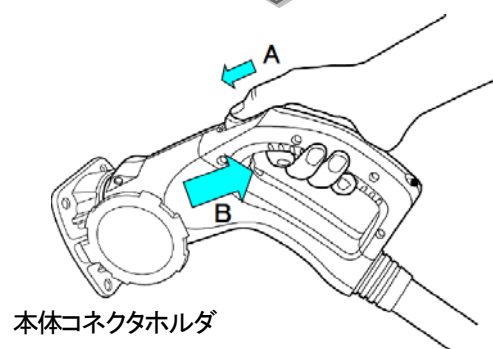
EV との接続方法

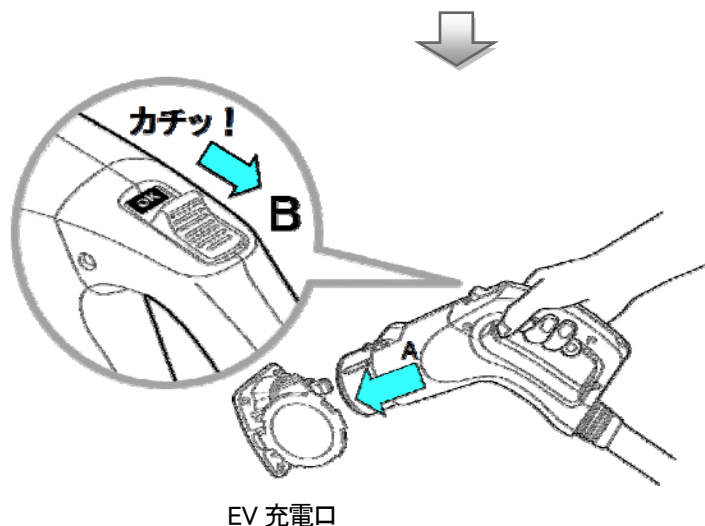
EV との接続は、EV が停止した状態で行ってください。
EV はパーキング状態で、メーターパネルが消えた状態（イグニッション OFF）にしてください。

EV へ接続する

① **EV を準備する**

EV のシフトをパーキング(P 位置)にします。
キーを OFF にして EV の充電口を開きます。

② **EVパワー・ステーションからコネクタを取り外す**

コネクタの解除ボタンを押しながら（A）、
コネクタをコネクタホルダから引き抜い
てください（B）。

③ **EV にコネクタを接続する**

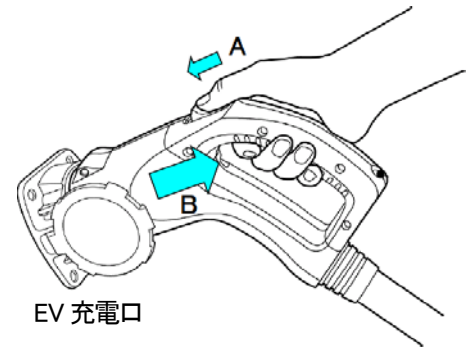
コネクタを EV の充電口に差し込みます（A）。
「カチッ！」と音がし「OK」の文字が見えるまで
押し込んで下さい（B）。
※　コネクタ接続中は EV を移動させないよう
にしてください。EV の充電口やコネクタが破
損する恐れがあります。
※　EV の取り扱いについては、EV の取扱説
明書を参照ください。

EV から取り外す

① **EV からコネクタを取り外す**

コネクタの解除ボタンを押しながら(A)、コネクタを充電口から引き抜いてください(B)。

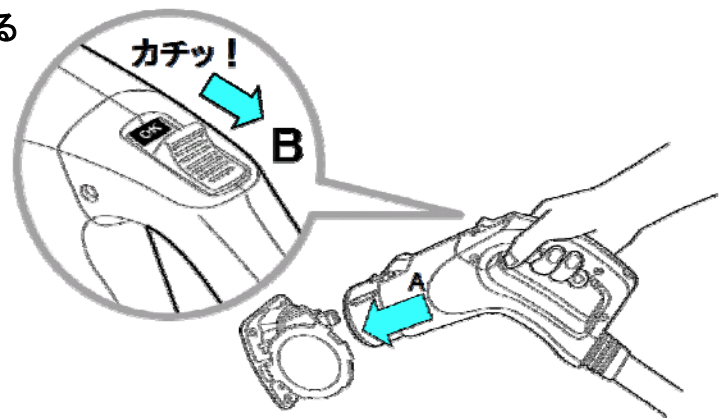
※ 充電・給電中にコネクタは外さないでください。

※ コネクタを外す場合は、充電・給電操作を停止し、EV パワー・ステーションが停止したことを確認した後に行ってください。

※ ロック中(赤いランプが点灯します)はコネクタを取り外せませんので、コネクタを取り外す時は「ロック解除」を行ってください。(→20 ページ)

② **EVパワー・ステーションにコネクタを収納する**

ケーブルをコネクタホルダに巻き付け、コネクタを収納口に差し込みます(A)。

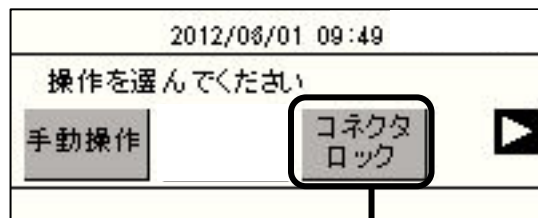
「カチッ！」と音がし、「OK」の文字が見えるまで押し込んで収納して下さい(B)。

※ 不使用時は、雨水やほこりなどを避けるためにも、コネクタをコネクタホルダに収納して保管してください。

コネクタのロック／ロック解除を行う

コネクタの EV へのロック／ロック解除を行います。 コネクタのロック中は、コネクタは EV から取り外せません。 コネクタを EV から取り外す場合は、コネクタのロックを解除してください。
タイマー運転を行う場合は、タイマー設定と同時にコネクタを EV へ接続し、コネクタロックを行うことを推奨します。

コネクタをロックする

① **コネクタを接続する**
コネクタを EV に接続します。(→18 ページ)

② **コネクタロック画面に切り換える**
ホーム画面 1 で[コネクタロック]をタッチします。

③ **コネクタをロックする**
[ロック]をタッチします。
コネクタが EV にロックされます

- コネクタが EV に接続されていない状態では、コネクタはロックできません。
- コネクタロック中は、無理にコネクタを取り外さないでください。
- EVパワー・ステーション本体のコネクタホルダにはロックできません。

コネクタのロックを解除する

① **コネクタのロックを解除する。**
[解除] をタッチします。

コネクタロック
2012/09/19 17:54 ホーム
コネクタロック/解除
解除 ロック
①

② **コネクタを取り外す。**
コネクタのロック解除後に行ってください。
(→19 ページ)

- 充電・給電動作中はコネクタのロック解除はできません。
動作を停止させてからロックを解除してください。

EV を充電する（手動操作）

EV への充電を行います。手動での充電は、タッチパネル、または前面ボタンから行うことができます。充電時の系統電力を計測し、設定した契約電力値以下になるように充電電力を制御します（インテリジェント充電制御）。

※60A 未満の電力契約のご家庭で、ご使用になる電力が多い場合、充電に要する時間が延びることがあります。

※インテリジェント充電制御は、本機能非対応の EV には対応していません。

※通常は EV が推奨するバッテリー容量まで充電します。満充電が設定されている場合は、満充電まで充電します。

タッチパネルを使用する場合

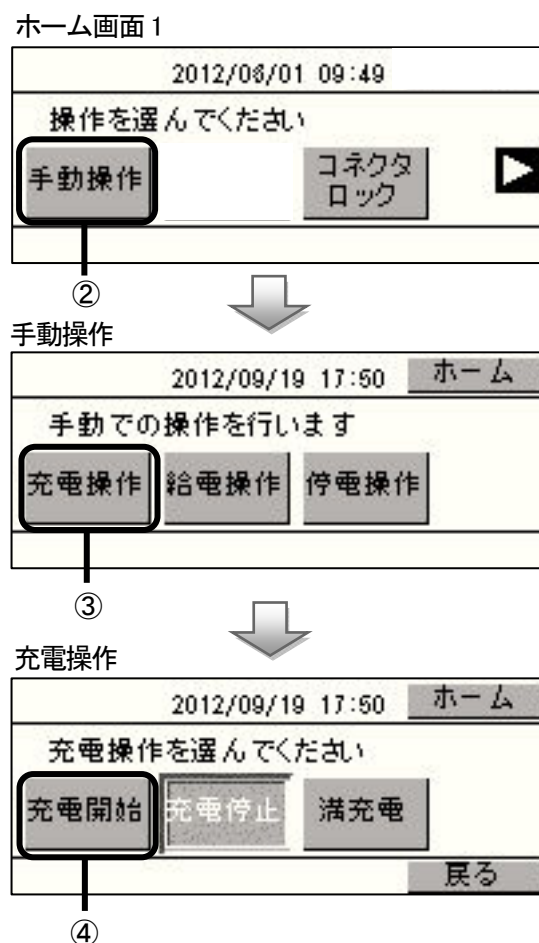
タッチパネルを使用し、EV への充電を行うことができます。

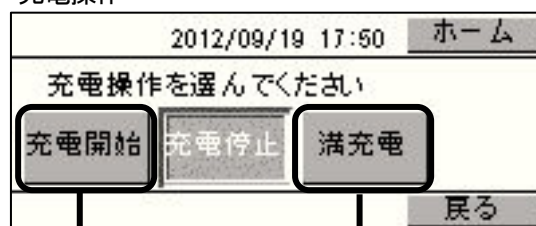
充電を開始する

① **コネクタを接続する**
コネクタを EV に接続します。(→18 ページ)

② **手動操作画面に切り換える**
ホーム画面 1 で[手動操作]をタッチします。

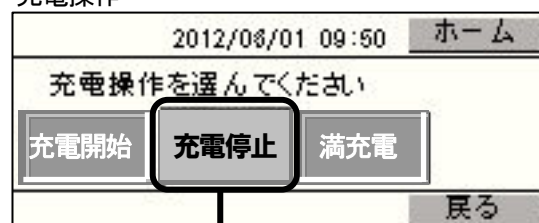
③ **充電操作画面に切り換える**
[充電操作]をタッチします。

④ **充電する**
[充電開始]をタッチします。

⑤ **満充電したい場合**

[満充電] をタッチ後に、[充電開始]をタッチします。

- 満充電を行う際は、充電を開始する前に 満充電 を設定してください。
  充電中の設定はできません。
- [満充電] は<u>**設定を変更するまでその状態を保持します。**</u>

充電を停止する

① **充電を停止する**

充電操作画面で[充電停止]をタッチします。

- 充電動作が停止しても、コネクタはロックされた状態のままとなります。
- コネクタを取り外す際は、「コネクタのロック／ロック解除を行う」(→20 ページ)を参考にロックの解除を行ってください。

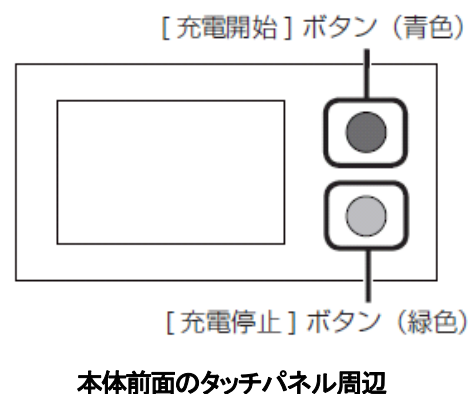
前面ボタンを使用する場合

本体前面の[充電開始] ボタン、[充電停止] ボタンを使用することで、推奨バッテリー容量までの充電をワンタッチで行うことができます。
セキュリティ設定を行っていても前面ボタンでの操作は可能です。

充電を開始する

① **コネクタを接続する**
コネクタを EV に接続します。(→18 ページ)

本体前面のタッチパネル周辺

② **充電を開始する**
本体前面の[充電開始]ボタン(青色)を押します。
コネクタがロックされ、EV への充電を開始します。
本体前面のボタンは本体が待機状態（タッチパネルの動作モード表示がない場合）のみ操作することができます。
EV への充電中は[充電開始]ボタンは点滅します。
充電状態を確認するには、ホーム画面 3 で[状態表示]をタッチしてください。

充電を停止する

① **充電を停止する**
本体前面の[充電停止] ボタン(緑色)を押します。
EV への充電が停止します。

- 充電動作が停止しても、コネクタはロックされた状態のままとなります。
- コネクタを取り外す際は、「コネクタのロック／ロック解除を行う」(→20 ページ)を参考にロック解除を行ってください。

家庭へ給電する（手動操作）

家庭への給電を、系統から EV へ切り換えます。

給電を開始する

① **コネクタを接続する**
コネクタを EV に接続します。(→18 ページ)

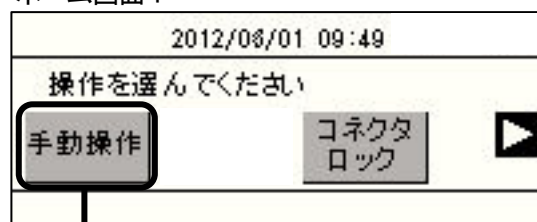
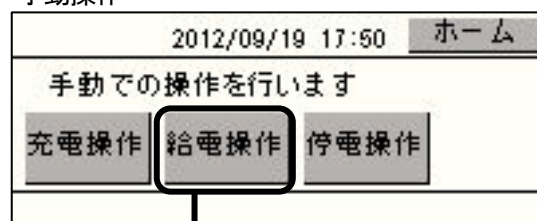
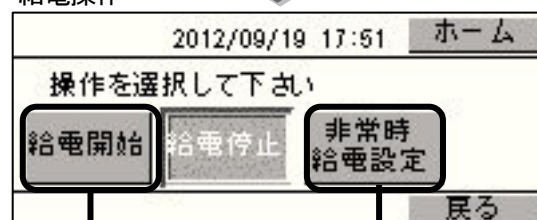
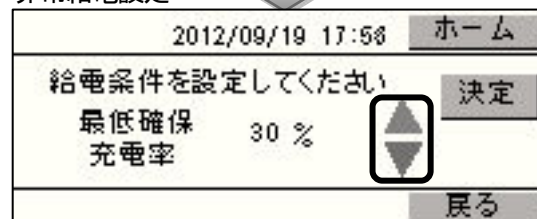
② **手動操作 画面に切り換える**
ホーム画面 1 で[手動操作]をタッチします。

③ **給電操作 画面に切り換える**
[給電操作]をタッチします。

④ **給電を開始する**
[給電開始]をタッチします。コネクタがロックされ、給電を開始します。

※ EV のバッテリー容量が EV に設定された最低確保充電率以下になると、自動的に給電が EV から系統に切り換わります。

※ ご家庭の使用電力がEVパワー・ステーションの給電能力に対し、余裕の少ない場合は給電が開始されません。

⑤ **非常時（停電時）に給電を行う場合**
給電操作画面で[非常時給電設定] をタッチします。
[▲／▼] で最低確保充電率を設定し、[決定] をタッチします（決定すると給電操作画面に戻ります）。
設定完了後、[給電開始] をタッチします。
※ 最低確保充電率は 10%刻みで設定を変更できます。
※ 10%未満には設定できません。

給電を開始すると画面が切り換わり、給電情報が表示されます。

[切替]をタッチすることで、文字表示⇔絵表示を切り換えることができます。

給電を停止する

① **給電を停止する**

給電操作画面で[給電停止]をタッチします。

- 給電動作が停止しても、コネクタはロックされた状態のままとなります。
- コネクタを取り外す際は、「コネクタのロック／ロック解除を行う」（→20 ページ）を参考にロックの解除を行ってください。

タイマー予約運転をする

毎日予約した時刻になると、自動的に充電の開始／停止、給電の開始／停止を行います。

●タイマー開始時刻に、手動で充電動作または給電動作が行われていると、
タイマー運転は開始されません。
●タイマー運転時間内で、コネクタが接続されていなければ 10 分ごとに開始音と異常発生通知音が鳴ります。この音は消すことができます。(→17 ページ)

充電タイマーを設定する

設定時刻に自動的に充電を開始します。
充電時の系統電力を計測し、設定した契約電力値以下になるように充電電力を制御します（インテリジェント充電制御）。
※60A 未満の電力契約のご家庭で、ご使用になる電力が多い場合、充電に要する時間が延びることがあります。
※インテリジェント充電制御は、本機能非対応の EV には対応していません。
※通常は EV が推奨するバッテリー容量まで充電します。満充電が設定されている場合は、満充電まで充電します。

① **タイマー運転 画面に切り換える。**
ホーム画面 2 で[タイマー運転] をタッチします。

② **タイマー充電時間 画面に切り換える。**
[タイマー充電時間] をタッチします。

③ **設定を変更する。**

設定したい[時 、 分] をタッチします。

※タイマー運転時間中はタイマー設定を変更できません。

④ **時刻を設定する。**

[▲／▼]を押すと、時刻が変更されます。

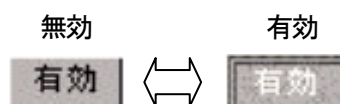
※ [時]は1時間単位、[分]は10分単位で変更できます。

⑤ **タイマーを有効にする。**

[有効] をタッチします。

タイマー運転を無効にする場合は、同一の手順で無効にして下さい。

無効 有効

有効 ⟺ 有効

> ※時刻設定をしただけでは、タイマー運転は有効にはなりません。
> タイマー運転を使用する場合は、設定を有効にして下さい。

⑥ **変更した時刻を保存する。**

[決定] をタッチします。

※[決定] をタッチしないと、時刻は保存されません。

※タイマー充電時間はタイマー給電の設定時間と重複しないように設定して下さい。 設定時間が重複していると、設定は行えずエラーメッセージが表示されます。

⑦ **コネクタを接続する。**

コネクタを EV に接続します。(→18 ページ)

EV へ接続後、コネクタはロックしておいて下さい。(→20 ページ)

※コネクタは、設定した開始時刻までに EV へ接続しておいて下さい。

タイマー充電中に充電を停止する（充電中に外出など）

充電を停止する

タイマー充電中に充電を停止する場合は、手動操作による充電停止をして下さい。

> タイマー充電を手動で停止した場合、タイマー設定時間内であっても再接続による充電動作は<u>再開されません</u>。 手動充電による充電動作は可能です。

① **充電を停止する。**

充電操作画面で[充電停止]をタッチします。

② **コネクタのロックを解除する。**

コネクタロック画面で[解除] をタッチします。

※ 充電動作が停止しても、コネクタはロックされた状態のままとなります。

※ コネクタを取り外す際は、コネクタロックの解除を行って下さい。(→20 ページへ)

タイマー時間中に再充電する(外出後の充電など)

充電を開始する

タイマー時間中に再充電される場合は、手動操作による充電開始をして下さい。

タイマー充電を手動で停止した場合、タイマー設定時間内であっても再接続による充電動作は**再開されません**。 手動充電による充電動作は可能です。

① **コネクタを接続する。**

EV にコネクタを接続します。(→18 ページへ)

② **手動操作画面に切り換える。**

ホーム画面 1 で[手動操作]をタッチします。

③ **充電操作画面に切り換える。**
[充電操作]をタッチします。

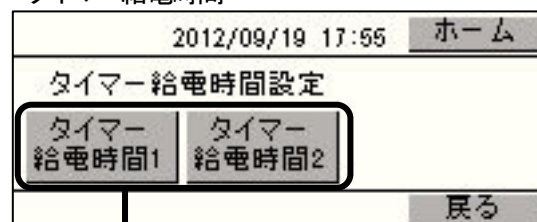
④ **充電を開始する。**
[充電開始]をタッチします。

給電タイマーを設定する

設定時刻に自動的に給電を系統から EV へ切り換えることができます。
自動給電では 2 つのタイマーが使用できます。

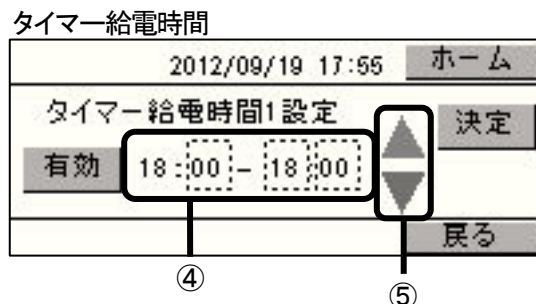
① **タイマー運転画面に切り換える。**
ホーム画面 2 で[タイマー運転]をタッチします。

② **タイマー給電時間画面に切り換える。**
[タイマー給電時間]をタッチします。

③ **タイマー給電時間の設定画面を呼び出す。**
[タイマー給電時間 1]または[タイマー給電時間 2]をタッチします。
※ タイマー給電設定は、1 日の中で 2 通りの設定ができます。

タイマー給電時間
2012/09/19 17:55
ホーム
タイマー給電時間設定
タイマー給電時間1
タイマー給電時間2
戻る
③

④ **設定を変更する。**

設定したい[時]または[分]をタッチします。

※タイマー運転時間中はタイマー設定を変更できません。

⑤ **時刻を設定する。**

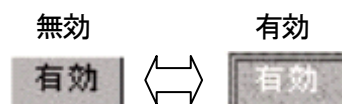
[▲／▼]を押すと新しい時刻が入力されます。

※ [時]は 1 時間単位、[分]は 10 分単位で変更できます。

⑥ **タイマーを有効にする。**

[有効] をタッチします。

タイマー運転を無効にする場合は、同一の手順で無効にして下さい。

無効　　有効

時刻設定をしただけでは、タイマー運転は有効にはなりません。 タイマー運転を使用する場合は、設定を有効にして下さい。

⑦ **変更した時刻を保存する。**

[決定]をタッチします。

※[決定]をタッチしないと、時刻は保存されません。

※ 給電開始・終了時間はタイマー充電の設定時間帯と重複しないように設定して下さい。

※ タイマー給電時間 1 およびタイマー給電時間 2 の設定時間帯はそれぞれ重複しないように設定して下さい。

※ 設定時間が重複していると、設定は行えずエラーメッセージが表示されます。

※ 日をまたいでの設定も可能です。

⑧ **コネクタを接続する**

コネクタを EV に接続します。(→18 ページ)

コネクタはロックしておいてください。(→20 ページ)

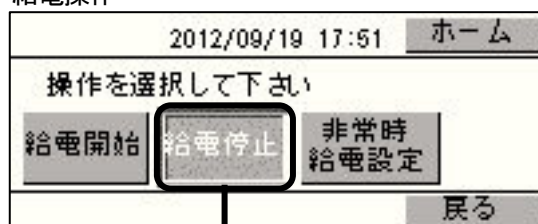
※コネクタは、設定した開始時刻までに EV へ接続しておいてください。

タイマー給電中に給電を停止する（給電中に外出など）

給電を停止する。

タイマー給電中に給電を中止する場合は、「家庭へ給電する（手動操作）（→ 24 ページ）」を参考に、手動で給電を停止してください。

タイマー給電を手動で停止した場合、タイマー設定時間内であっても再接続による給電動作は<u>再開されません</u>。 手動給電による給電動作は可能です。

① **給電を停止する。**
給電操作画面で[給電停止]をタッチします。

② **コネクタのロックを解除する。**
[解除] をタッチします。

※ 給電動作が停止しても、コネクタはロックされた状態のままとなります。
※ コネクタを取り外す際は、「コネクタのロック／ロック解除を行う（→20 ページ）」を参考にロックの解除を行ってください。

タイマー時間中に再給電する（外出後の給電など）

給電を開始する。

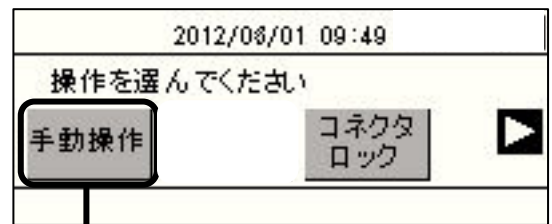
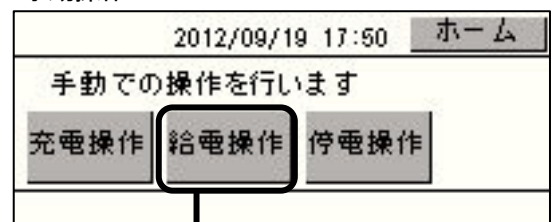
タイマー時間中に再給電される場合は、手動操作による給電開始をして下さい。

タイマー給電を手動で停止した場合、タイマー設定時間内であっても再接続による給電動作は<u>再開されません</u>。 手動給電による給電動作は可能です。

① **コネクタを接続する。**
コネクタを EV に接続します。（→18 ページ）

② **手動操作 画面に切り換える。**

ホーム画面１で[手動操作]をタッチします。

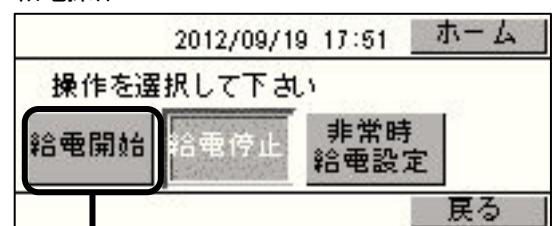
ホーム画面１

③ **給電操作 画面に切り換える。**

[給電操作]をタッチします。

③

④ **給電を開始する。**

[給電開始]をタッチします。

※ EVのバッテリー容量がEVに設定された最低確保充電率以下になると、自動的に給電がEVから系統に切り換わります。

給電操作

④

過負荷による系統への切り換わり後の動作について

家庭の使用電力が多くなり、本機の電力供給能力を超えた場合、自動的にEVからの給電を停止し系統からの給電に切り換わります。

その際、本体タッチパネルのメッセージ表示部に「 自動給電再開待ちです 」、「 手動給電再開待ちです 」と表示されます。

ご家庭の使用電力がEVパワー・ステーションの供給能力を十分に下回ったことが確認されると、10分程度で自動的にEVからの給電に切り換わります。

タイマー運転条件を設定する

タイマー充電およびタイマー給電の条件を設定します。

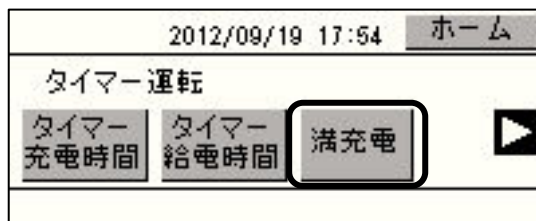
ホーム画面 2

① **タイマー運転 画面に切り換える。**
ホーム画面 2 で[タイマー運転]をタッチします。

② **充電条件を設定する。**

● 通常
設定の必要はありません。
EV が推奨するバッテリー容量まで充電します。

● 満充電
バッテリーのフル充電を行う場合は、[満充電]をタッチします。

タイマー運転 1

・満充電を行う際は、タイマー開始時間の前に[満充電] を設定して下さい。
タイマー運転中(充電または給電中)の設定はできません。
・[満充電] は、<u>設定を変更するまでその状態を保持します。</u>

③ **給電条件を設定する。**

● 通常時
設定の必要はありません。
※ EV のバッテリー容量が EV に設定された最低確保充電率以下になると、自動的に給電が EV から系統に切り換わります。

● 非常時
タイマー運転 2 画面で[非常時給電設定] をタッチします。
[▲／▼]で最低確保充電率を設定し、[決定]をタッチします。
※ 最低確保充電率は 10%刻みで設定を変更できます。
※ 10%未満には設定できません。

タイマー運転 2

非常給電設定

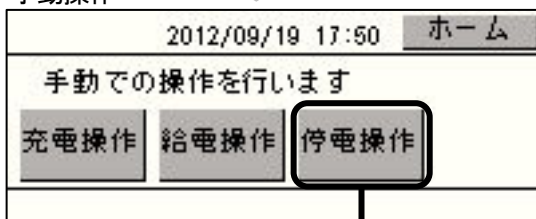
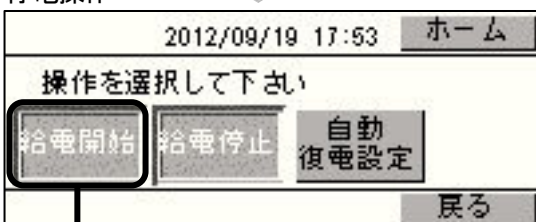
停電時に使用する

万一、系統電力が停電になったときには、手動で EV からの給電を行うことができます(停電操作)。自動復電設定をあらかじめ行っておくことで、系統が復電したときに、自動で系統に切り換わります。停電時は、停電操作のみ有効です。充電・給電操作は使用できません。
停電後 10 分以上経過すると、タッチパネルから操作できなくなります。その場合は、本体裏面の[停電復帰]ボタン(黄色ボタン)を、タッチパネルに「準備完了しました」のメッセージが表示されるまで長押しを行い、再起動させてください。

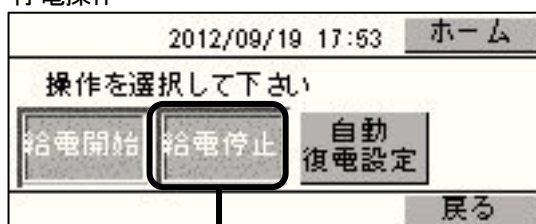
給電を開始する

① **コネクタを接続する**
コネクタを EV に接続します。(→18 ページ)

② **手動操作　画面に切り換える**
ホーム画面 1 で[手動操作]をタッチします。

③ **停電操作　画面に切り換える**
[停電操作]をタッチします。

④ **給電を開始する**
[給電開始]をタッチします。

給電を停止する

① **給電を停止する**
[給電停止]をタッチします。

系統への自動切り換えを設定する

停電時に系統が復電した場合の動作を設定します。

ホーム画面１

① **手動操作画面に切り換える**
ホーム画面１で、[手動操作] をタッチします。

手動操作

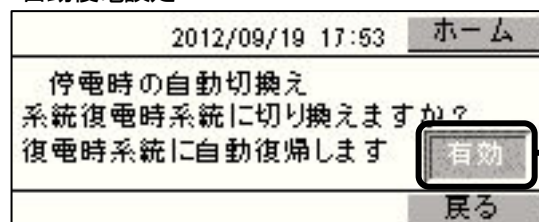
② **停電操作画面に切り換える**
[停電操作]をタッチします。

停電操作

③ **自動復電設定を行う**
[自動復電設定] をタッチします。

自動復電設定

④ **自動復帰設定を有効にする**
[有効] をタッチします。
有効にすると、系統が復電してから５分経過後、自動的に系統に切り換わります。
無効の場合、給電を停止するか、設定した給電条件になるまで給電を継続します。

※ 給電条件は手動操作の設定が適用されます。
「家庭へ給電する（手動操作）」（→ 24 ページ）に従い条件を設定してください。

停電時に使用する場合の注意事項

- EVパワー・ステーションは系統からの電気が途絶えると、「停電」と認識します。尚、停電から系統が復旧しても5分間は「停電」状態と認識します。
- 災害により停電が発生した場合は、漏電などがなく家庭内の電気系統に問題のないことを確認のうえ「給電操作」を行ってください。

> **⚠ 警告**
> もし漏電や地絡など発生の恐れがある場合には、火災などの恐れがありますので「給電操作」は行わないでください。

- 停電時に EV から給電操作を行うときには、最大家電負荷容量を定格出力範囲内でご使用ください。それよりも大きい負荷を使用されますと電圧が低下し、動作が不安定になったり、停止したりする場合があります。
  EV からの給電中は下記の家電製品の使用は避ける、または注意して使用してください。

家電製品の種類	対処・動作	製品例
途中で電源が切れると困る家電製品	接続禁止	医療機器、録画機器、 デスクトップ型パソコンなど
突入電流が大きい家電製品	動作しない場合がある	家庭用エレベーター、掃除機、遠赤外線ヒーター、井戸水ポンプ、業務用複合機、暖房温水便座、高圧洗浄機など
消費電力が大きい家電製品	動作しない場合がある	炊飯器、電子レンジ、 IH クッキングヒーター、エアコンなど

＜電気使用量の大きい家電品の参考データ＞

- 電子レンジ 1,000 ～ 1,200W
- IH レンジ 1,000W
- 掃除機 1,000W
- 液晶 TV 200W
- 冷蔵庫 150W 以上合計 3.55kW

- 人命に直接かかわる医療機器など、瞬時停電があると事故または支障のある電気機器は絶対に接続しないでください。

- 自動復電設定を有効にしていない場合、「停電」が復帰した場合でも系統には切り換わりません。
  系統に切り換える場合は、手動で給電を停止してください。
  そのまま EV からの給電を継続しても問題はありません。

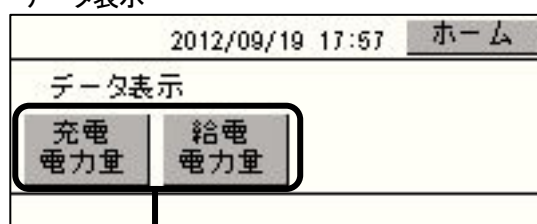
データ表示について

充電電力および給電電力に関する統計データ（日間、月間、年間）を表示します。

① **データ表示　画面に切り換える**

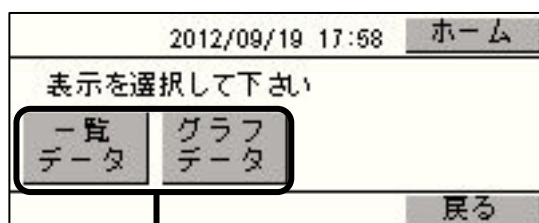
ホーム画面 2 で[　データ表示　]をタッチします。

② **データを選択する**

[　充電電力量　]または[　給電電力量　]をタッチします。

③ **統計データを選択する**

確認したい期間を[　日間　]、[　月間　]、[　年間　]からタッチして選択します。

④ **統計データを表示する**

[　一覧データ　]または[　グラフデータ　]をタッチすると、統計データが表示されます。

日間	1　日の時間ごとの電力値（kWh）および累計値を表示します。 当日より 7　日前までのデータを表示します。
月間	1 ヶ月の日ごとの電力値（kWh）および累計値を表示します。 当月より 1　カ月前までのデータを表示します。
年間	1　年の月ごとの電力値（kWh）および累計値を表示します。 当年より 2　年前までのデータを表示します。
一覧データ	選択した表示期間のデータを一覧で表示します。
グラフデータ	選択した表示期間のデータをグラフで表示します。

こんなときは

機器から異音が発生する

以下の音は本製品の異常ではありません。

カチッ（本体）	給電切り換え時の音です。
ブーン（本体）	空冷ファンの音です。
ガシャン（中継ボックス）	給電切り換え時の音です。
ジー（中継ボックス）	かすかな音ですが電磁接触器の動作音です。

運転時の高周波音は、まれに聴覚感度が高い方にとっては不快に感じる場合があります。
本体の設置条件によっては、空冷ファンの音が大きく聞こえることがあります。そのような場合、静音フード（オプション）をご用意しております。
その他の音の場合は、お客様相談室までお問い合わせください。

コネクタが取り外せない

充電動作または給電動作が停止しても、コネクタはロックされた状態のままとなります。
コネクタを取り外す際は、「コネクタのロック／ロック解除を行う」（→20 ページ）を参考にロックの解除を行ってください。

コネクタが凍結した

コネクタおよびコネクタホルダ部が凍結した場合は、充電・給電を停止し、ロックを解除後にぬるま湯で解凍してください。
解氷剤、凍結防止剤は使用しないでください。

給電できない

- 本機の給電機能を使用するためには、EV 側のプログラムを変更する必要があります。EV のプログラムを変更されていない場合または、変更されたか不明な場合は、EV 販売店へお問い合わせください。
- EV のパワースイッチが ON したままになっていると、給電動作は開始されません。パワースイッチを OFF し、給電を開始してください。
- EV 側でタイマー充電、タイマーエアコン、即充電ボタンの設定をしている場合、EV の給電動作は開始されません。タイマー充電、タイマーエアコン、即充電ボタンの設定を解除し、給電を開始してください。
- EV の充電率が最低確保充電率以下である場合は、充電を行ってから給電してください。

設定通りに充電が止まらない

- EV 側でタイマー充電、即充電が有効の場合、EVパワー・ステーションの満充電設定が無効でもタイマー終了時間を超えて充電されます。車両側のタイマー充電設定を解除してください。

給電が停止する

- 本機はEVのバッテリー容量がゼロになることを防止するため、給電をEVが推奨するバッテリー残量で停止するように初期値が設定されています。
  非常時には残量10%まで給電設定することが可能です。(→24ページ)
- 家庭の使用電力が多くなり、本機の電力供給能力を超えた場合、自動的にEVからの給電を停止し、系統からの給電に切り換わりますが、使用電力が供給能力以下になった場合、10分程度で自動的にEVからの給電に切り換わります。
- ご家庭の使用電力が給電能力に対し、余裕の少ない場合は給電が開始されません。

家電製品の動作が不安定になったり、停止したりする

- 本機の電力供給限界(*)まで家電製品を接続・運転すると、動作が不安定になったり、停止したりする場合があります。

  特に、単相3線200Vを契約のお客様の場合には、100V系統が2系統配線されていますが、2系統の負荷のバランスにご注意ください。偏った1系統に3kW以上の負荷が偏って接続された場合、接続された系統が不安定になったり、停止する場合があります。接続状態がわからない場合には、施工を担当の工事会社にご相談ください。

  また、定格電力内であっても、突入電流(**)が大きい家電製品を使用した場合、一時的に供給限界を超え、動作が不安定になったり、停止したりする場合があります。
  家電製品の運転状態をご確認いただき、不要な家電製品を「切」にするか、消費電力の大きい家電製品のご使用はお控えください。

  家電製品の電力消費量については、取扱説明書を確認、または家電製品のメーカーにお問い合わせください。

＊ 電力供給がEVから系統、系統からEVへ切り換わる時に、一部の家電製品において電源が切れる場合があります。途中で切れると困る機器、突入電流が大きな機器、消費電流が大きな機器を使用される場合はご注意ください。
一例を表に示します。
途中で切れると困る機器ご使用の場合はUPS(無停電電源装置)の併用を推奨いたします。

家電製品の種類	対処・動作	製品例
途中で電源が切れると困る家電製品	接続禁止	医療機器、録画機器、デスクトップ型パソコンなど
突入電流が大きい家電製品	動作しない場合がある	家庭用エレベーター、掃除機、遠赤外線ヒーター、井戸水ポンプ、業務用複合機、暖房温水便座、高圧洗浄機など
消費電力が大きい家電製品	動作しない場合がある	炊飯器、電子レンジ、IHクッキングヒーター、エアコンなど

＊ 電力供給が制限を超えると、出力制限がかかります。また、一定以上この制限状態が続くとEVからの給電を停止し、系統からの供給に戻ります。 タイマー設定時間内に使用電力が供給能力

以下になった場合、10 分程度で自動的に EV からの給電に切り換わります。

** 機器の起動時に流れる電流です。定常運転時に比べ一般に大きな電流が流れます。突入電流の大きな家電については、「停電時に使用する場合の注意事項(36 ページ)」を参照ください。

・ 家庭側の負荷が小さいにもかかわらず、動作が不安定になる場合は、周波数設定が間違っている可能性があります。 施工を担当の工事会社またはお客様相談室にご相談ください。

EV からの給電時に、LED 照明がちらつく

調光器付きの LED 照明を使用している場合にちらつきが発生することがあります。
ドライヤー、掃除機、電子レンジなどを使用すると、電圧の変動が発生する場合があります。その影響を受けちらつき、照度低下が発生することがあります。

ブレーカが頻繁に落ちる

・ 設置時、電源を投入すると右の画面が表示されます。
周波数設定、電力設定を適切に行っていただく必要があります。
設定された周波数、電力などが適切でない場合、ブレーカの頻繁な遮断や家電品の故障につながる恐れがあります。

2013/04/10 19:14
保守画面で周波数、電力設定をして下さい。

・ 充電動作時にブレーカが落ちる場合、電力設定が間違っている可能性があります。施工を担当の工事会社またはお客様相談室にご相談ください。
・ 本機の充電機能を使用するためには EV 側のプログラムを変更する必要があります。
このプログラム変更が施されていない車両で充電した場合は家電製品の使用状況によりブレーカが落ちることがあります。
プログラム変更されたかどうかが不明の場合は、EV 販売店へお問い合わせ下さい。

充電時間が長い

多くの家電製品を運転しながら充電すると、充電時間が長くなる場合があります。
家電製品の運転状態をご確認いただき、不要な家電製品を「切」にするか、運転している家電製品の少ない時間帯に充電してください。
充電時の系統電力を計測し、設定した契約電力値以下になるように充電電力を制御します。(インテリジェント充電制御)

満充電にならずに充電が止まる

本機は EV が推奨するバッテリー容量まで充電すると停止するように設定されています。満充電にしたい場合は満充電機能をお使いください。なお、満充電は設定を変更するまでその状態を保持します。

停電時の運転

停電発生時に本機から給電する場合は、あらかじめ家電機器の安全を確認してから給電を開始してください。
とくに災害に伴う停電の場合は注意が必要です。

パスワードを忘れた場合

本取扱説明書に記載のお客様相談室に連絡してください。お客様相談室からの指示に従い、パスワード表示画面を確認してください。4 桁の数字が表示されますので、その数字をお客様相談室へ連絡してください。表示された数字はそのままパスワードとしてはご使用にはなれません。

中継ボックスのブレーカが ON できない

非常停止ボタンが押されたままになっている可能性があります。
非常停止ボタンを押し、元の状態に戻してください。

給電中なのに電力メーターが動いている

EV からの給電中でも、ＥＶパワー・ステーションの作動用として若干の系統電力を使用しているため、電力メーターが動きます。系統停電時は、ＥＶパワー・ステーション内部のバッテリーを使用し電力を供給するので、停電時でも問題ありません。

定期的に「ピー」音が鳴る

タイマー充電・給電を予約している時間になった際、コネクタが EV と接続されていないと「接続異常」を診断してしまうため 10 分おきに開始音と警告音が鳴ります。EV と接続していない状態ではタイマー充電をオフにしてください。

また、タイマー運転中および手動運転中に停止操作をせずにコネクタロックを解除すると 10 分おきに開始音と警告音がなります。（17 ページ　音の関連設定を参照）

太陽光、コジェネ等のシステムを後付けする場合

太陽光・エネファーム等のコジェネシステム・蓄電システム・HEMS システム、ECO マネシステムを後付けする場合、販売店にご相談ください。

しばらく使用しない場合

EVパワー･ステーションの電源をOFFした状態で長期間(1ヶ月程度)放置しますと、内蔵バッテリーの電圧が低下し、停電時にご使用になれない場合があります。そのため、定期(2 週間毎に 1 日を目安)にEVパワー･ステーションの電源をONして頂く必要があります。

低温時にタッチパネルの表示が見えにくい

タッチパネルは、低温時に液晶の反応が遅くなることや、表示が見えにくくなることがありますが、故障ではありません。

エラーメッセージが表示されたとき

エラーメッセージが表示されたときは、次の表に従って処置してください。

それでも回復しない場合は本製品の故障が考えられます。お客様相談室に連絡していただく際には、画面に表示されるエラーメッセージをご連絡ください。

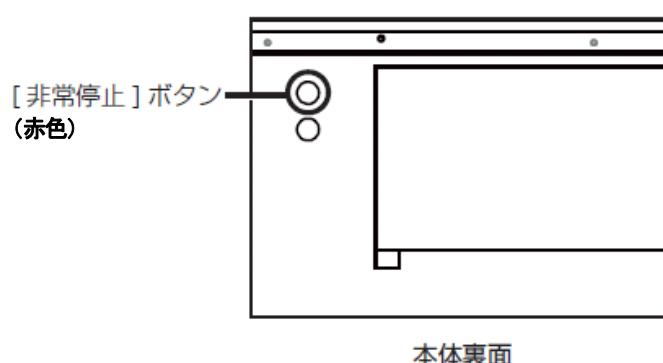
エラーメッセージの内容と処置

<table>
<tr><th>エラーメッセージ</th><th>処 置</th></tr>
<tr><td>EV 充電ケーブルが接続されていません</td><td>コネクタの接続を再確認してください。</td></tr>
<tr><td>設定時刻がタイマー節電時間と重複しています</td><td>時間帯の重複がないように再設定してください。</td></tr>
<tr><td>設定時刻がタイマー充電時間と重複しています</td><td>時間帯の重複がないように再設定してください。</td></tr>
<tr><td>設定値が最低確保充電率を下回っています</td><td>最低確保充電率を再設定してください。</td></tr>
<tr><td>入力可能範囲外です</td><td>入力可能範囲の値を設定してください。</td></tr>
<tr><td>接続BOXに異常が発生しました</td><td>中継ボックスブレーカ MCCB3、MCCB4 が ON されていない可能性があります。ブレーカの状態を確認し、OFF になっている場合は ON にしてください。
それでもエラーが解消されない場合は、本取扱説明書に記載のお客様相談室にご連絡ください。</td></tr>
<tr><td>インバータ部に異常が発生しました</td><td rowspan="6">通信異常･MCU 異常･本体異常が発生した場合、EVパワー･ステーションと EV の接続および EVの設定(パワースイッチ、タイマー設定など)をご確認ください。
それでもエラーが解消されない場合は、本取扱説明書に記載のお客様相談室にご連絡ください。</td></tr>
<tr><td>コンバータ部に異常が発生しました</td></tr>
<tr><td>充電器部に異常が発生しました</td></tr>
<tr><td>通信異常が発生しました</td></tr>
<tr><td>MCU 異常が発生しました</td></tr>
<tr><td>本体異常が発生しました</td></tr>
</table>

非常時の停止方法

前面操作パネルで停止ボタンを押しても停止しない場合、非常停止ボタンを用いることで、動作を停止させることができます。
※給電中に非常停止ボタンを押した場合は停電することがあります。

本体背面の非常停止ボタンを押すと、中継ボックスのブレーカ MCCB3、MCCB4 が OFF になり、EV パワー・ステーション本体の運転が停止します。
（尚、内蔵バッテリーにより約 10 分間運転状態が保持され、タッチパネルが点灯していますが、約 10 分経過すると、本体電源が OFF となりタッチパネルも消灯します。）

本体裏面

復帰方法

非常停止ボタンを解除する場合は、非常停止ボタンが押されたままの状態になっていますので、再度非常停止ボタンを押し、元の状態に戻してください。
その後、中継ボックスのブレーカを MCCB3、MCCB4 の順に一度 OFF にした後に、今度は MCCB4、MCCB3 の順で ON にしてください。非常停止状態が解除されます。

システムリセット方法

EVパワー・ステーションを初期化するためにシステムリセットをすることができます。
※システムリセットを行うことで、「タイマー有効設定」、「満充電設定」、「非常時給電設定」は解除されます。

1） 本体背面の[非常停止] ボタン（赤色）を押す
中継ボックスのブレーカが遮断されます。ブレーカのレバーは ON と OFF の中間の位置で止まります。
[非常停止] ボタン（赤色）は押されたままの状態です。

2） 本体前面の[充電停止] ボタン（緑色）を 10 秒以上（タッチパネルが消灯するまで）押し続ける。
本体の電源が切れます。

もう一度、タッチパネルの画面に触れ画面が現れないことを確認してください。

※画面が表示された場合はもう一度[充電停止] ボタン（緑色）を10秒以上（表示器が消灯するまで）押し続けてください。

3） 再度[非常停止] ボタン（赤色）を押す。

[非常停止] ボタン（赤色）が元の状態にもどります。

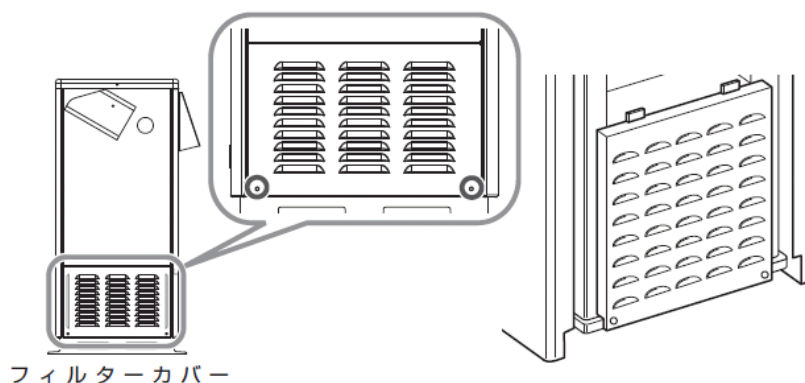
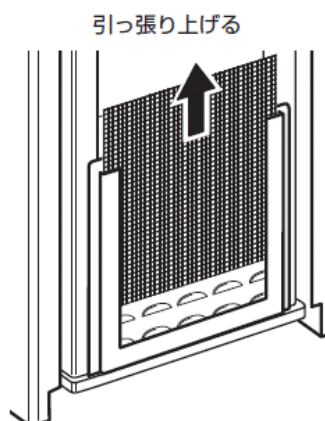
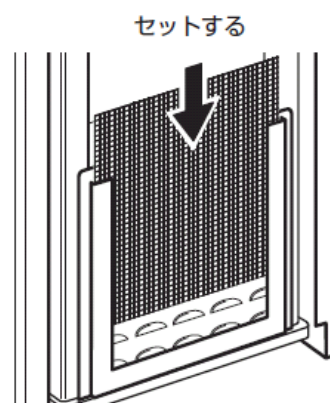
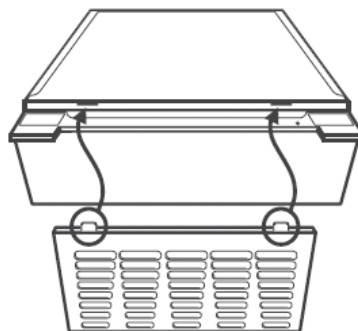
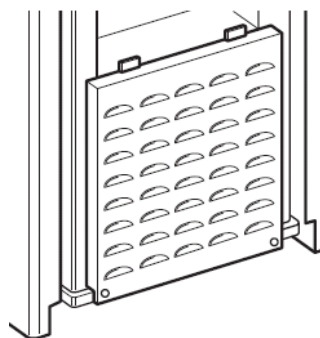
4） 中継ボックスのブレーカをすべて OFF にし、MCCB4→MCCB3 の順に ON にする

本体に電源が入り起動します。

点検とお手入れ

フィルターの交換

本体のフィルターは消耗品です。性能を維持するため、1 年に一度交換してください。フィルターの購入については、お客様相談室にお問い合わせください。

① 本体下側のフィルターカバーのつまみネジ 2 本を取り外す（ネジの紛失にご注意ください）

② フィルターをホルダから取り外す

③ 新しいフィルターをセットする

④ フィルターカバーを取り付ける

⑤ 2 本のネジを締め、フィルターカバーを固定する

風水害または地震時の対応

風水害時に水没の恐れがあるときは、中継ボックス内のブレーカを「OFF」にし、あらかじめ運転を止めてください。

また、水没した場合には、中継ボックス内のブレーカを「OFF」にし、運転を止めた状態でお買い上げの販売店までご連絡ください。

地震の場合は、被害状況に応じて、販売店までご連絡ください。

保証とアフターサービス

保証について

保証については保証書の内容をよくお読みください。
保証書は販売店よりお渡ししますので、販売店名、お買い上げ日等の記入をお確かめになり、施工業者が発行する工事完了報告書(またはそれに準ずる工事完了日記載の書類)といっしょに大切に保管してください。
上記の記載がない場合、また工事完了日がわからない場合に無効となることがあります。
尚、本製品以外の要因(他社製品の追加工事等)で本体が故障した場合は保証の対象外となります。
お客様の故意、または過失による故障、天災等に起因する故障については保証対象外となります。
保証の対象はEVパワー・ステーション本体(コネクタ付きケーブル含む)、中継ボックスに限らせていただきます。
なお、保証の範囲については保証書記載内容によります。

アフターサービスについて

● ご不明な点や修理に関するご相談は
修理に関するご相談ならびにご不明な点は、本取扱説明書に記載のお客様相談室にお問い合わせください。

● 修理を依頼されるとき
修理を依頼される場合、次のことをお知らせください。
- お買い上げ時期
- 装置の型式と製造番号
- 故障の状況(エラーメッセージ、故障発生時の運転状況、発生時刻と天候など)

● 補修用性能部品の最低保有期間
- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 装置の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後 10 年です。

製品に関するお問い合わせ

● 本製品の仕様に関するお問い合わせやご相談は下記窓口にご連絡ください。

ニチコン株式会社　お客様相談室
TEL. 0120－215－023 (フリーダイヤル)
受付時間 9:00 ～ 17:00 月曜日～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

機器仕様

本体仕様

		標準仕様	防錆仕様	寒冷地仕様
環境	設置場所	屋外(注1)		
	標高	最大 2000m		
	周囲温度	－10℃～＋40℃		－30℃～＋40℃
	周囲湿度	30～90％ （結露なきこと）		
	運転音	約 45dB （エアコン室外機相当）(注2)		
表示操作器		3.4 型モノクロ液晶タッチパネル(注3)		
入力電源		単相 3 線、AC200V ± 10%、50 ／ 60Hz ± 2%、入力電流 0 ～ 30A		
充電	出力電圧	DC450V 未満		
	出力電流	DC0 ～ 19A		
	効率	充電効率最大 90%（CHAdeMO 規格）		
給電	入力電圧	最大入力電圧DC450V(注4)		
	出力電圧	単相 3 線 N-L 間 AC100V ± 6%、L1-L2 間 AC200V ± 6%		
	周波数	50 ／ 60Hz ± 2%		
	出力電流	AC30A 未満/L1-N・L2-N 間(注5)		
絶縁耐圧		AC2000V ／1 分間（主回路一括～対地間）		
絶縁抵抗		DC500V 絶縁抵抗計にて 50M Ω以上		
充電ケーブル		JEVS G 105-1993 適合、 CHAdeMO Rev.0.9 適用品 約 3.7m 約 6kg（標準）/約 7.5m 約 9kg（オプション）、最大定格電流 60A		
本体寸法		780（H）× 650（W）× 350（D）mm （充電ケーブルを除く寸法）		
質量		約 61kg （ケーブル重量含まず）		約 63kg （ケーブル重量含まず）
本体性能		屋外設置仕様、IP44 相当、強制空冷式		
防錆塗装		×	○	○
防錆ネジ		×	○	○
防錆対策ファン		×	○	○
回路基板の防錆処理		× （一部防錆処理）	○(注6)	○(注6)
タッチパネルの 表示薄れ防止		×	×	○(注7、注8)
雪吹込み防止フード		×	×	○(注9)

中継ボックス仕様

設置場所	屋内
系統切り換え時間	約 1ms
寸法・質量	370(H) × 710(W) × 150(D)mm、約 10kg
許容最大電流(系統側通電電流)	各相 60A

注１ 受信障害となる場合がありますので、ラジオ・テレビ・アマチュア無線等の電波を利用する機器とは 2m 以上離して設置してください。岩礁隣接地域、重塩害地域では使用できません。温泉等の腐食性ガスのある環境では機器の動作に影響を及ぼす可能性があります。事前にご確認ください。

注２ ＥＶパワー・ステーションから発生する音について
- ・充電中や家庭への給電中の音はエアコンの室外機音程度ですが、敏感な方は機器の高調波音が気になる場合があります。
- ・充電や給電への切り換え時に、内部リレーが切換わる音が発生します。
- ・中継ボックスからジーという音が発生する場合がありますが、これは交流電源の脈動による音です。設備稼働直後は音が大きい場合がありますが、使用するに従い小さくなっていきます。
- ・本体の内部温度が高くなると、本体の排気ファンが高速になり、作動音が大きくなることがあります。

注３ 指定の周囲温度外では表示の応答性やコントラストに支障を及ぼす場合があります。強い紫外線下での使用を避け、過度の加重をかけないようにご注意ください。

注４ 機器の出力値であり、実際の充電出力を保証している数値ではありません。契約電力や家庭への負荷およびEV の充電率によっても異なります。

注５ 最大電力を片側 30A 以下（100V）となるように負荷制限制御が作動します。各ご家庭の機器の効率、家庭用配線接続状況によって規定の電力がとれず、実質 6kW の出力がとれない場合がありますのでご注意ください。

注６ 防錆仕様品を使用した場合でも、サビの発生に対して万全ではありません。本書に記載している「取扱上のお願い」事項をお守り頂くことで、サビの発生時期を遅らせることができます。

注７ 低温下においてはタッチパネルの液晶の反応が遅くなることや、表示の一部が薄くなることがありますが故障ではございません。

注８ 寒冷地仕様品は、低温時にタッチパネルの表示薄れ防止用ヒーターの動作により、待機電力が 20W 程度大きくなります。

注９ 寒冷地仕様品であっても、雪の吹込みに対して万全ではありません。吹きさらしとなることを極力回避するような場所に据付けてください。

●家庭への給電の際に、大きな負荷を同時投入した場合や、6kW 近くの負荷を継続的に投入した場合には、自動的に出力を制限する安全制御等が作動します。
そのため安全制御が作動すると電圧低下や、極端な場合には保護回路が作動し、出力が停止したりする場合があります。さらに負荷が 6kW を超えることが予想される場合には、自動的に系統からの給電に切換わります。ご家庭でお使いの電気製品の消費電力量を参考にして、給電時の負荷容量には十分注意してお使いください。

●一般的なご家庭の多くは、100V が２系統配線されています。EV からの給電時に１系統に偏って供給能力以上の電力が流れた場合、系統からの給電に切換わる場合があります。

機器外観図　（数値単位は mm　但し、参考値）

本体

※寒冷地仕様の雪吹き込み防止フードは図に含んでいません。

中継ボックス